

## 平成 28 年度第 3 回大潟コミュニティ・スクール委員会 議事録

開催日時 場所	進行・記録	出席者・欠席者
平成29年 2 月20日 (月) 18:30～20:30  大潟町中学校 会議室	進行 小玉 裕  記録 長谷川和彦	出席委員 ・長澤 英夫(会長) ・高橋 道代(副会長) ・平原 誉夫(事務局長) ・小林 恵子 ・土屋 美枝 ・黒崎 忠夫 ・小山 彰 ・井部 孝一 ・柳澤 恵子 ・熊木 勉 ・塚田 克俊 ・渡辺 章雄 ・佐野 謙一 ・長谷川敬子 ・陸川 晃 欠席委員 ・チャールズ ストラットン 事務局 ・小玉 裕 ・長谷川和彦 大潟町小学校職員 (オブザーバー) ・浅野 一清 ・合志 淳 ・笠原 賢一 大潟町中学校職員 (オブザーバー) ・内藤 隆 ・武田 雅人 ・小山 宏一 ・古川 和恵 ・池田 昭衣

### 議事内容

1 開会のあいさつ (長澤会長)

2 小・中校長あいさつ

3 議事 (議長は長澤会長)

(1) 小学校からの説明

①学校評価の概要 (成果と課題)

②夢・志チャレンジ事業の取組

(2) 小学校についての質疑

○スマホやゲームなどのメディアとのかかわりについては、家庭でも困っている。大潟の子どもを育てる会でも危惧している案件である。対策をお伺いしたい。

○基本的には、家庭の問題である。PTAでもこの問題について周知する必要があるし、対策を講じる必要があるのではないか。

○PTAでも一番の課題と認識しているが、各家庭単位では解決しない状況である。大潟の子どもを育てる会でも講演会を開催し、保護者や地域の方にスマホやインターネット機器とのかかわり方について講演会を開催している。講演会后、1週間くらいは良いが、その後は元の生活に戻る。また、講演会に来てほしい家庭は来ない。

○中学校PTAでは、アンケートを取り、携帯やスマホの使用時刻は午後9時までと呼び掛けているが、まだまだ啓発が足りない。

○スマホやインターネット機器は良い面もある。ネット社会を否定するのではなく、時間を決

めて使用することが必要だ。

- 繰り返し良い情報を流し、根気よく取り組んでいくことが大切である。
- スマホやゲームなどの他にもっと楽しいことがあることをPRし、各家庭で繰り返し話し合う機会をもったらどうか。
- 大潟の子どもを育てる会では、「みんなの本だな」の取組を行い、読書を奨励している。私の時代は本を読んでいろいろな知識を身に付けた。それしかなかった。
- 「ノーディスプレイデー」の取組はどうか。

### (3) 中学校からの説明

- ①学校評価の概要（成果と課題）
- ②夢・志チャレンジ事業の取組

### (4) 中学校についての質疑

- 「授業が分かる」が96%というのは本当か。分かるとはどういうことなのか、もっと自己分析する必要がある。場面を想定し、アンケートの仕方を見直さなければならない。
- 新聞でもそうだが、質問の仕方1つでアンケート結果が変わる。
- しかし、毎年数値が上がっているのは、住民としてうれしいことである。
- 家庭学習時間はこれでいいのか。生徒にタイムマネジメントの力を身に付けさせたい。
- やれなかったら、やれるときにやるなど、1週間の区切りで見ていくのはどうか。
- 本当に勉強をし出すのは、3年生の部活動が終わってから。勉強に集中すべき時にやらないのが問題である。部活動と勉強をどう両立して取り組むのか、その指導を先生方をお願いしたい。
- 将来への目標をイメージさせることが必要。入れるところに行くのではなく、夢を追求させたい。
- だからキャリア教育に力を入れている。中学校では、「夢の扉」を開催し、活躍している人の話を聞く機会を設けている。また、地元での職場体験も行っている。小さいことだが将来を意識する機会となっている。
- 中学校の夢チャレは素晴らしい取組であり、よいお金の使い方をしていると思う。
- 講演会に行けない人にビデオ視聴できるようにしてもらったり、講演会の要旨をいただいたりできないか。
- 来年度は創立70周年記念事業ということで、大潟町中の先輩であるソプラノ声楽家の山下徳子さんのコンサートを計画している。また、ノーベル生理学・医学賞受賞者の大村智さんが坂口記念館で講演会を開くので、2年生全員の参加を予定している。可能な範囲でVTRを提供したい。
- 人権教育、同和教育について、白山会館へ行って話を聞いてきた。小中学校では、取り組んでいるのか。
- 上越市では、全ての学校が取り組んでいる。昨年度も一昨年度も授業公開を行っている。
- 我々の世代は人権教育、同和教育をやっていないので、分からないところがある。

### (5) 教育課程について

- ①総合的な学習の時間について（小中別に協議）

#### <小学校>

低学年では、ヤギの飼育は、命の大切さや育てることの大変さも学べるよい活動である。

中学年では、地域と結び付けて学習していくことが大切で、米大舟などの地域の伝統について学ぶことをカリキュラムに位置付けるとよい。米山登山については、下牧にベースキャンプがある。安全対策を講じ、保護者や地域と連携を図ると良い。

高学年では、5年生は目の前の海とのかかわりを深めていけるようにすると良い。6年生は、まとめとして地域に働きかけることを目標とする。

#### <中学校>

1年生は、地域調査を行い、まちづくりの提言を行ってきた。中学生なりのアイデアを出すよい活動である。まちづくりワークショップは継続する。ポスター作品展が良かった。

2年生は、職場体験。地域の人に育ててもらえるよい機会である。また、広島での平和学習はよい経験となった。卵の花の垣根づくりもよい活動であった。中学校で育てた卵の花を家庭や上越妙高駅で配ったらどうか。

3年生の進路学習について、早い段階で高校の先生から話を聞くと良いのではないか。

②平成29年度学校行事予定

③その他

- ・大潟の子どもを育てる会の3部会ともっと連携を図る。
- ・コミュニティ・スクール委員会は年3回あるが、そのうちの1回は小学校を会場とする。

#### 4 事務連絡

- (1) 今後の予定
- (2) コミュニティ・スクール委員会関連情報
- (3) 議事録のHP、学校だよりでの公開
- (4) その他

#### 5 閉会のあいさつ（高橋副会長）